



第210号

発行所  
 長野市立吉田公民館  
 長野市吉田3-22-41  
 電話 241-6354  
 発行人 大平靖長  
 印刷所 富士印刷(株)

令和4年12月1日  
 総数 16,801人  
 男 7,980人  
 女 8,821人  
 世帯数 7,486世帯



## 新年を迎えて

吉田公民館 館長 大平 靖長

新年明けましておめでとうございます。  
 令和5年の初春を、皆さまそれぞれ新しい年への抱負と希望に胸を膨らませ、お迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、公民館事業に多大なるご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げますとともに、本年もご指導ご鞭撻くださるようお願い申し上げます。

さて、吉田公民館は、長野市立の公民館です。社会教育法で規定され、長野市が設置した社会教育施設（公の施設）です。

その目的は、長野市民（長野市に勤務される方も含みます）の教養・文化の向上などを図り、社会福祉の増進に寄与することです。具体的には、各種講座・講演の開設、諸集会の実施、サークルやボランティアの育成・活動の支援、学習情報の提供、教室の貸出し、図書への貸出し等により、地域住民の皆さまの学習ニーズに応え、地域の皆さまの絆を築くとともに、コミュニティ

## ホームページをご覧ください

「吉田公民館・かがやきひろば吉田」で検索してください。



の形成にも寄与します。そのため、今年度も、14講座の実施とサークル等への貸館で令和4年12月末現在、約2万3千人の方にご利用いただいています。

しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、当初計画していた「吉田町成人野球・ソフトボール大会」「吉田ふるさと夏祭り」「吉田町文化祭」「吉田町大運動会」は、中止とさせていただきます。

新型コロナウイルスの発生から3年が経ちます。この間、ウイルスの変異により第1派から現在の8派まで感染者数は増減を繰り返しています。日本製の治療薬が承認されたという情報もありますが、基本的な感染予防対策をしながら、新型コロナウイルスはいつも私たちの身近に意識して暮らす以外、いまのところでは絶対的な方策がないのかと思っています。

「青き踏めマスクを鳩として放て」新しく芽生えた青草を踏みながら野山で遊び、マスクを外す（鳩として放つ）日が来ますよ。という句だそうです。テレビでおなじみの夏井いつき先生の句です。そんな日が来るといふ希望を胸に、地域の皆さまとともに、一年を過ごしたいと思えます。





# 公民館活動



## 成人学校



### 着付けとマナー

～知っておくと安心、恥をかかない日常のマナー～  
和の礼儀や所作をそみい先生に学び、本物を身に付けています。



### 書道に親しむ

楷書、行書、隷書を、小出先生の書にまつわる興味深い話を聞きながら、心を落ち着けて、書いています。



### 日本料理 ～四季折々～

素材を活かす味付けと美しい盛り付けを湯本先生と小笠原先生に学んでいます。



### ハワイアンフラ



ハワイアンステップの基本とハンドモーションを中井先生の弾ける声と丁寧な指導で楽しく実践しています。



### エキゾチックアジア料理

東南アジア諸国の伝統料理を真知子先生に学んでいます。現地体験を交えた講義や民族衣装での実演で目にも鮮やかなアジア料理を作って楽しんでいます。





一般講座



令和4年度の

育美教室



子育てフリーデー



おはなし会



チェアヨガ



紅茶の  
楽しみ方と  
魅力大発見



大人の音読



わくわく  
スマホ教室



クラフトバンドで  
縦編みのバッグ作り





# 吉田公民館の歩み

(2008号からつづく)

### 3 結婚改善への取り組み

昭和20年代後半から、生活改善の一環として結婚式の在り方・簡素化についての声が上がってきました。

昭和32年(1957年)9月24日に開催された座談会、「男女の交際と結婚について」の中で、「結婚式を簡易に行い、披露宴の簡素化を進めるために吉田にも公営結婚式ができる会場を作り、公民館運動として取り上げるように」との提言がされました。

それを受け、昭和33年3月15日に「吉田地区結婚改善運営委員会」が結成され、今後の具体的推進と運営が図られることになりました。

「館報よしだ」37号に、吉田地区結婚改善委員会が「結婚改善について」と題して記事を載せています。  
\*この結婚式の実現されるまで(抜粋)

『結婚改善について研究をしてきたが、資金面で具体化にいたらなかった。し

かし、農協(吉田)の二階に、設備が整ったことから、借用して運営することとなった。従来の挙式は時間の浪費や無駄な経費をかけることが多くあったので

これをはぶいて、大勢の人たちで新郎新婦の門出を祝うこととする。祝儀は会費制で300円とする。』  
昭和33年4月8日、農協の式場で、「模擬結婚式」を実施し本番への自信を深めました。同年4月12日に、第1回の結婚式が行われ、その後も多数の申し込みがあり、昭和35年には挙式数30組、貸衣装49件となりました。

しかし、昭和40年代から徐々に利用数が減り現在に至っています。(つづく)



## 令和4年度

### 吉田町俳句の目入選句

#### 一般の部

○スーパリーの軒がすみ家や初燕 水本 佳代子

○老夫婦夕食いつも冷奴 磯野 ひろやす

○それぞれがそれぞれの色新樹光 勝山 学

○杜鰲時代を負うて天高し 小林 喜久子

○八階の窓より眺む遠花火 松本 清子

#### 小学生の部 (吉田小学校)

○ハロウィンなんでもなれるプリンセス しみず れいあ

○あまかったおばあちゃんとミニトマト さとう こはる

○みつばちはどこまでとんでいくのかな 山田 まよ

○赤とんぼ空とぶ羽がすきとおる 舎川 琴美

○夏休み雨がしたたる水の音 田嶋 希実

○ひまわりはいつもみんなとあそんでる 羽田 心咲

○雪遊び写真とつたよかまくらで 栗原 すず

○学校で日日草をもらったよ 竹中 唯

○夏休み初日に宿題終わらせる 高山 瑛太

○つくしんぼこみちこつそりせいくらべ 依田 涼佑

○おちばがねくるくるまっつておちてくる 春原 将悟

○山に行き軍手を二重で栗拾い 和田 詩音

○なにまるのリズムにあわせてみぎひだり 松下 莉愛

○星月夜ひとみかがやく君の顔 山浦 歩菜

○秋の空夕日にのまれカラスとぶ 湯田 音色

○夏休み生でプロレス最高だ 加藤 連

○泣き笑い学生服へ桜舞う 和田 夏怜

○さみだれにうたれてはずむみなもかな 矢澤 航輝

○甘い糸折り重なるやモンブラン 堀込 優歩

○もみじ落ち地面がそまり赤い道 久保 凜子

○月の夜うさがびよんととびはねる 土屋 咲季

○青い空入道雲に差す光 横井 柊子

○福が来た私の家につばめの巣 三井 蒼大

○こいのぼり水面うつればおよいでる 清水 穂香梨

#### 中学生の部 (東部中学校)

○若竹の中風抜ける嵐山 小嶋 謙伸

○風鈴の音鳴る中で水占い 宮川 愛奈

○新緑と池にうつりし金世界 乾 乃介

○鹿苑寺写る鏡湖浮く青葉 綿貫 黎

○あかいろの汗ばむ頬と千鳥居 和田 莉枝

○秋雨や会釈をし合う歩道橋 柴田 悠葉

○鳳凰がひでり空下かがやけり 寺島 夢